

平成29年度決算報告

平成29年度の決算が12月定例議会にて認定されました。今回はその概要を一般会計を中心にお知らせします。

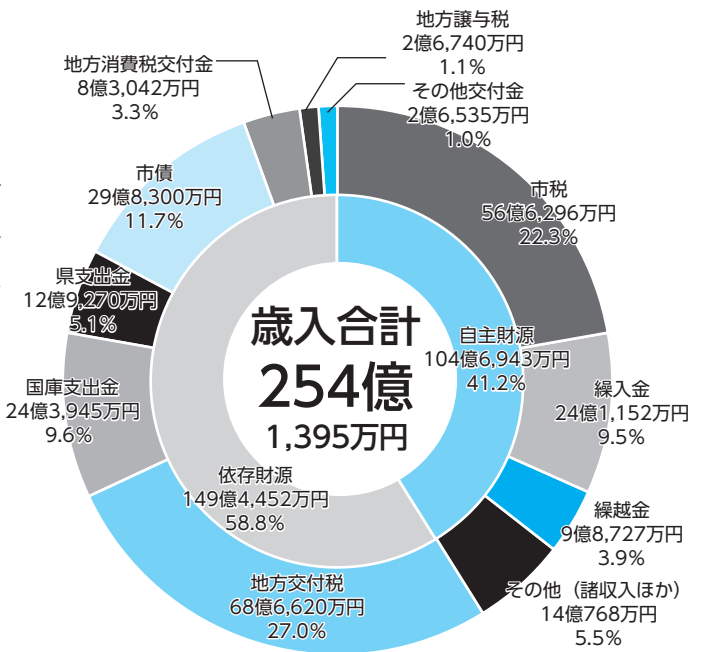
○一般会計歳入

歳入合計は254億1,395万円
前年度に比べ35億7,249万円増加

繰入金や市債などの増加により全体で35億7,249万円増加となりました。国や県に頼った依存財源の歳入は149億4,452万円となり、前年度より14億9,862万円増加となりました。また、自主財源は前年度より20億7,387万円増加し、104億6,943万円となっています。

※市税の内訳(カッコ内対前年度比率)

・市民税(個人)	22億2,156万円	(+2.6%)
・市民税(法人)	3億4,829万円	(-9.7%)
・固定資産税	26億1,629万円	(+3.6%)
・軽自動車税	1億6,271万円	(+4.4%)
・市たばこ税	3億 860万円	(-7.1%)
・鉱産税	551万円	(-7.5%)



○一般会計歳出

歳出合計は241億5,401万円
前年度に比べ35億7,982万円増加

連沼交流センターの整備に伴う事業費等の増加により全体で35億7,982万円増加となりました。

歳出を費目別で見ると、総務費が全体の27.2%を占めており、続いて民生費26.7%、教育費12.3%の順となっています。

※費目別の主な内容

【総務費】

- (仮称)連沼タワー整備事業(繰越分を含む) 14億 785万円

【民生費】

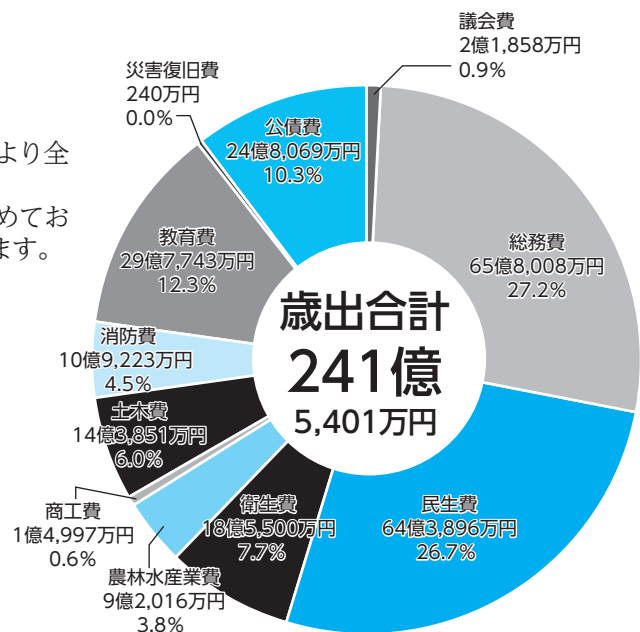
- 障害者自立支援事業 9億 872万円

【衛生費】

- 地方独立行政法人さんむ医療センター運営事業 3億3,738万円

【教育費】

- 成東総合運動公園陸上競技場改修事業(繰越分を含む) 3億6,844万円



性質別歳出(カッコ内対前年度比率)

○人件費	36億3,274万円	(-2.2%)	○積立金	25億8,946万円	(+487.1%)
○扶助費	32億9,716万円	(-2.9%)	○投資及び出資金・貸付金	5,529万円	(-21.4%)
○公債費	24億8,069万円	(-3.8%)	○繰出金	20億6,028万円	(-6.8%)
○物件費	28億3,857万円	(+4.3%)	○普通建設事業費	37億8,640万円	(+84.2%)
○維持補修費	1億9,995万円	(+9.5%)	○災害復旧事業費	240万円	(-94.6%)
○補助費等	32億1,107万円	(+1.7%)	合計	241億5,401万円	(+17.4%)

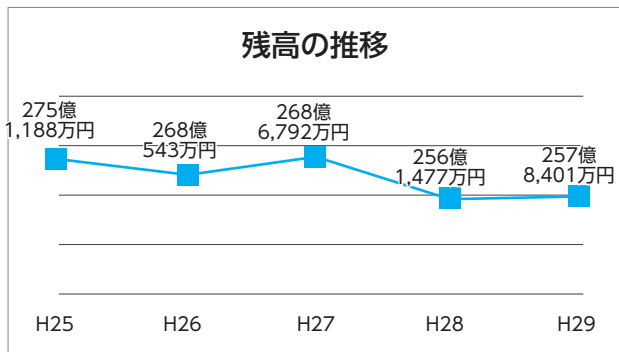
【用語の解説】

※歳入※
繰入金：一般会計、特別会計、基金の間で移動するお金
地方交付税：どの地方自治体でも一定の行政サービスが行えるように国から交付されるお金
国庫支出金：市が行う事業に対し、必要に応じて国から交付されるお金
市債：公共施設の整備などの資金として借りるお金
地方譲与税：国税として徴収された後、市に譲与されるお金(地方揮発油譲与税や自動車重量譲与税など)
※歳出※
扶助費：高齢者、障がい者、児童、生活困窮者などへの支援に要するお金
公債費：市の借入金の返済に係るお金
物件費：市の事業に必要な消耗品や備品、委託業務などに要するお金
補助費等：部事務組合への負担金や各種団体への補助金など
積立金：計画的な財政運営や特定の支出目的のために基金に積立てるお金(市の預金)
繰出金：特別会計の事務を補助するため、一般会計から特別会計に支出したお金
普通建設事業費：道路や学校の建設など、社会資本整備に要するお金



○市債の状況

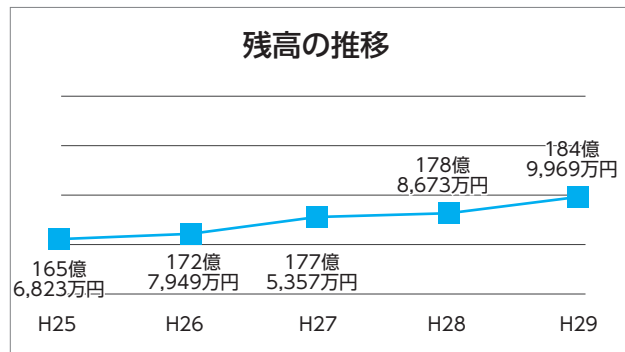
市の市債残高は257億8,401万円
前年度に比べ1億6,924万円増加



市民1人あたりの借金
49万2,193円 (+1万495円)

○基金の状況

市の基金残高は184億9,969万円
前年度に比べ6億1,296万円増加



市民1人あたりの預金
35万3,142円 (+1万6,773円)

○特別会計・公営企業会計の決算

特別会計

国民健康保険特別会計（事業勘定）	歳入	91億2,116万円
	歳出	82億6,673万円
国民健康保険特別会計 （直営診療施設勘定）	歳入	1億3,927万円
	歳出	1億2,246万円
後期高齢者医療特別会計	歳入	4億9,993万円
	歳出	4億9,937万円
介護保険特別会計	歳入	47億4,450万円
	歳出	46億 694万円
組合立国保成東病院事業 清算事務特別会計	歳入	2億2,081万円
	歳出	1億6,169万円
地方独立行政法人さんむ医療 センター公債管理特別会計	歳入	1億2,306万円
	歳出	1億2,306万円
農業集落排水事業特別会計	歳入	2億6,808万円
	歳出	2億6,569万円

公営企業会計

水道事業会計	収益的収入	4億3,742万円
	収益的支出	3億9,448万円
	資本的収入	534万円
	資本的支出	2億 760万円

○財政健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成29年度決算に係る健全化判断比率および資金不足比率を公表します。

財政健全化判断比率

山武市の財政状況は、全ての指標で国の定める基準を下回り、健全な状態にあります。

(単位：%)

区 分	山武市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	12.85	20.00
連結実質赤字比率	—	17.85	30.00
実質公債費比率	9.3	25.0	35.0
将来負担比率	—	350.0	—

※実質赤字比率と連結実質赤字比率は赤字がないため、将来負担比率は算定値がマイナスのため「—」で表示しています。

資金不足比率

公営企業ごとの資金の不足額が事業規模に対してどの程度あるかを示します。山武市は全ての公営企業で資金不足はなく、財政の健全性を保っています。

(単位：%)

会計名	山武市	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.00
農業集落排水事業特別会計	—	

※いずれの会計も資金不足が生じていないため「—」で表示しています。

☎ 財政課 0475(80)1121

地域振興基金運用益金を活用した事業の報告

市では、市民の連帯の強化や地域振興を進めるために設けられた「山武市地域振興基金」の運用から生ずる収益(運用益金)を財源とした事業展開をしています。平成29年度において運用益金を活用して実施した事業の概要について報告します。

事業名	総事業費(千円)	摘 要
地域まちづくり協議会事業	10,321	3団体の活動費
市民提案型交流のまちづくり推進事業	1,365	4件の事業実施費
地域まちづくりグローバル賑わい空間事業	5,000	松尾高校での英語合宿の開催
サマーカーニバル実行委員会補助事業	4,500	花火の打ち上げ代など
エコキャンドル実行委員会補助事業	300	エコキャンドル実行委員会による事業実施費
S1グランプリ実行委員会補助事業	1,000	S1グランプリ実行委員会による事業実施費
さんむスプリングフェスタ実行委員会補助事業	1,227	イベント時の配布用イチゴ代など
松尾公民館ダンス振興事業	1,394	ダンスイベントにおける会場設営や講師報酬など
体験型音楽祭「山のおんぶ」事業	2,800	イベント時の音響・照明代などとして活用
ロードレース大会補助事業	2,673	市内小・中学生の参加費
合 計	30,580	総事業費のうち、運用益金から12,263,750円を充当

☎ 企画政策課 0475(80)1132